

# マガジン



## DUO 軽量樹脂型枠

伊勢崎駅前アクスビル新築工事 4-5 ページ

## RCS レールクライミングシステム

中之島フェスティバルタワー・ウエスト新築工事 10-11 ページ

## GRIDFLEX 新世代のスラブ型枠

巨鳥鉦山(株) 事務所建築工事 12 ページ



## お客様各位

この度ペリーマガジン第三版を皆様にお届けするにあたり、皆様より常日頃賜っておりますご支援とご愛顧に対して、心より御礼申し上げます。

今回のペリーマガジンでは、ご好評頂いておりますペリー大判システム型枠に関する数々の使用例はもちろん、高層ビル工事の安全性と作業効率を著しく向上させたペリー外周養生フレーム RCS (レールクライミングシステム)、全く新しいコンセプトにより開発されたペリー軽量樹脂型枠 DUO (デュオ)、及び新世代のスラブ型枠として注目を浴びている

GRIDFLEX 等、多様化する建設市場のご要望にお応えした実績を広範囲に、ご紹介させて頂きました。

また東京オリンピック・パラリンピック 2020 に向けた話題として、ペリーグループの作り上げてきた実績も掲載させて頂きましたので、皆様がスポーツや各種イベント関連施設の仮設工事を計画される際には是非ご参照ください。

秋葉 知史  
ペリー・ジャパン代表取締役

# 秋葉知史

表紙写真  
中之島フェスティバルタワー・ウエスト新築工事

## 東京オリンピック・パラリンピックに向けて —オリンピック関連海外プロジェクトのご紹介—

PERI が携わってきたオリンピック関連プロジェクト

2013 年 9 月 8 日、2020 年オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定したとの一報に日本中が大いに盛り上がりました。一方、祝賀ムード一色の中に於いても、建設業界に関わる多くの方々は喜びながらも現在の建設業界を取り巻く環境や諸問題を冷静に捉え、如何にこの国家の一大事業に自らが

関わり貢献するのかの思いを巡らせておられる方も多数かと思えます。事実、現在の建設業界における慢性的な労働人口の減少や建設資材の不足、価格の高騰等の問題は日々深刻さを増してきており、物づくりのあり方を再度見つめ直し、早急にこれらの問題を解決すべく新たな技術や製品開発の必要性に迫

られています。私達ペリー社は、コンクリート用型枠、仮設資材のエンジニアリング会社として、皆様が諸問題を解決する際の最良のパートナーになる事を切に願っております。

ロンドンアクアティクスセンター (内観図)



ロンドンアクアティクスセンター (内観図)



ロンドンオリンピック  
ビーチバレーボール会場 (ARENA 社と協同)





ロンドンオリンピック会場アクアティクス・センター（上写真）

ドイツに本社を置き、現在世界 64 ケ国の支社と 120 ケ所にのぼる物流拠点を持つ弊社は、過去世界各国で開催された数々のオリンピック等の大規模なスポーツイベントに関連する施設やインフラの建設工事に携わって参りました。その結果として培われた技術を、日本の建設現場を熟知した経験豊富なエン

ジニアや現場指導員を通じて皆様へ提供し、包括的なサポートが可能です。物流に関しては、茨城ストックヤードより東京オリンピック・パラリンピックの施設が建設される湾岸エリアまで、通常 120 分以内の迅速な資材の搬送が可能です。

2020 年東京オリンピック・パラリンピックのキーワードが“Discover tomorrow”「未来（あした）をつかもう」となっております。私達は型枠と仮設のプロフェッショナルサプライヤーとして、精一杯皆様の「未来（あした）」を見付けるお手伝いをさせて頂く事をお約束致します！

ロンドンオリンピック選手村（俯瞰図）



ロンドンオリンピック選手村



ソチ冬季オリンピック時建設パイパストネル



# 伊勢崎アクスビル(仮称)新築工事 DUOを用いた地中梁の工事

群馬県伊勢崎市



窪田建設株式会社  
土木部施工準備室長  
松下 幸弘 様

本件では、群馬県伊勢崎市にある伊勢崎駅前の14階建ホテルの建設に際し、基礎工事から1階のスラブまでの基礎工事を行いました。PERIの樹脂型枠DUOが本格的に使われる現場としては日本で初めての現場であるとの事でしたが、当社ではかねてからPERIの型枠製品を使用しており、製品やサービスの品質には信頼を置いていることから、新製品を使

う際にも、大きな懸念点や不安要素などは特にありませんでした。

その一方で、当初は大工さんや作業者の方から、組み立て方が特殊であるという事もあり、いくつか疑問点も指摘されましたが、PERI技術者の懇切丁寧な指導の下でトラブルもなく工事を進める事ができました。

実際に施工した上での使用感としては、在来の型枠と比較し持ち運びが楽で、横端太やパイプの必要もなく、組立て、脱型共に効率よく行えた点が挙げられます。事実、人工もかからず、効率よい作業が行えました。また、

単管などの部材保管場所は必要がなく、場所が整理されコンパクトに納まりました。

仕上がりコンクリートの品質については、コンパネに比べ吸水率が低い事もあり、在来工法ほどの仕上がりは期待していませんでしたが、脱型後の仕上がりを確認した所、大きな問題はないことがわかり、最終的には工事の内容は大成功でした。DUOの特徴を考えると、細かな加工がない場所、例えば橋脚や、擁壁などの施工に大変向いていると思います。今後もDUOの改善を進め、より現場で使いやすいようなご提案を頂けたらと思います。



NEW! DUO – 端太材の一体化により軽量化を実現。転用回数増加に貢献  
打設現場で小回りの利く、環境にやさしい軽量型枠



【DUO 製品特徴】

PERI は以前から、ポリマー製品の建設技術への応用について、調査並びに開発を行ってきました。その結果着目したのが、特に強度が高く、耐久性に優れたポリマーマトリックス構造のポリテックです。このポリテックを原料素材として利用しているため、面板の耐

久性は従来の合板より高く、より多くの転用が可能となります。その結果として、コストの削減、また現場での廃棄物削減が実現できます。

製品は人間工学に基づいた形状で設計されているため、組立て方法も直感的に分かりや

すくなっております。また、使用する工具の量をできるだけ減らし、型枠作業の経験が浅くても効率よく作業ができるように設計されています。この特徴により型枠の建込み、脱型に必要な時間、人工を大幅に減らす事ができ、工期短縮とコスト削減につなげる事が可能となります。



# 富山 LNG タンク CB クライミング作業足場を用いた施工

富山県射水市



はじめてペリー製型枠を知ったのは、東南アジア現場見学時、大枠で使われているのを見た時でした。とても便利だという印象を受けたのと同時に、日本の安全基準に合わせて活用する点で難しさがあるのではと感じておりました。ただ、その後別の国内現場で使用して当初の懸念が払拭できたこともあり、当現場においてもペリー製品を継続して導入する方針でした。

・足場の組ばらしがない点、建込を行った後に順次、次作業工程に進めることで、工期短縮にもつながる点

・型枠も高所から降ろさず作業を進めることができ、ゼロ足場上の作業感覚で行える上に、高所作業も安全性を維持確保し、進めることが可能

以上2点、現場での利便性も高く満足しております。

定着地点において乗り入れなどの利便性を考慮し、枠組み足場を導入していましたが、規格の違いに起因する境界部の凸凹や品質の不一致が問題点でした。今現場に於いてはペリー製品に統一し、上述の点でも改善に至りました。

部材の種類が多く、調達に時間を要する事もありましたが、対応等に関しては概ね満足しております。今後の改善点としてくださる事を期待しています。

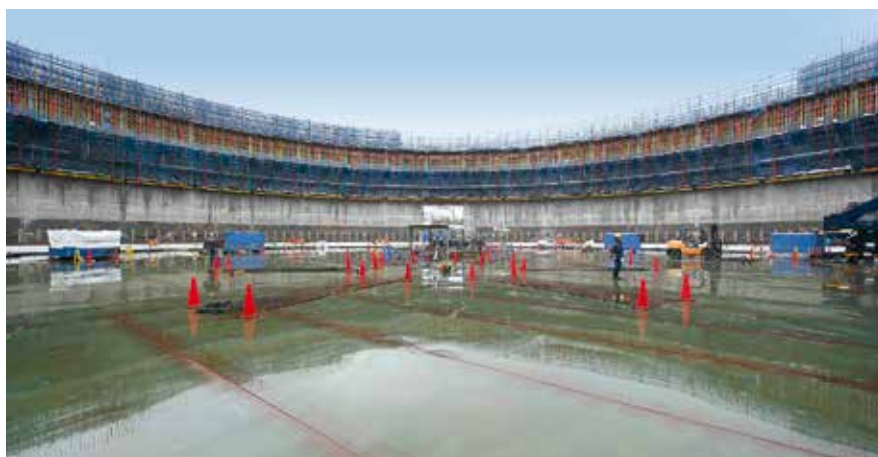
タンク建設現場などに於いては、今後ともペリー製品の標準導入を進めて行く方針です。現場毎でのフィードバックの積み重ね、意見交換を通じ、さらなるペリー製品の改善を進めて頂ければと考えております。



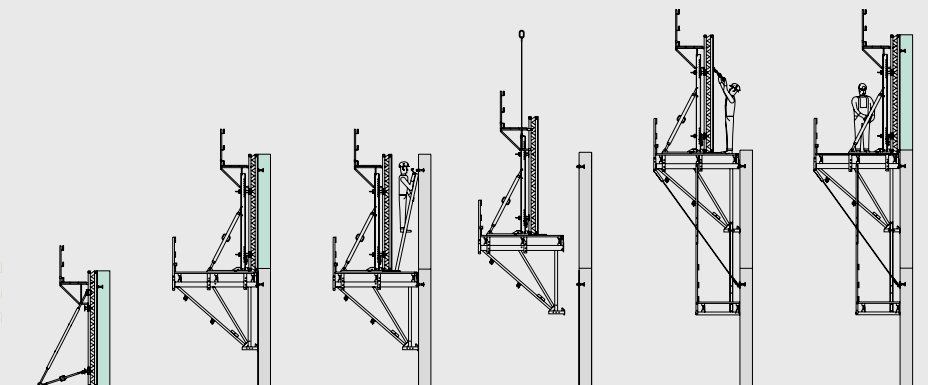
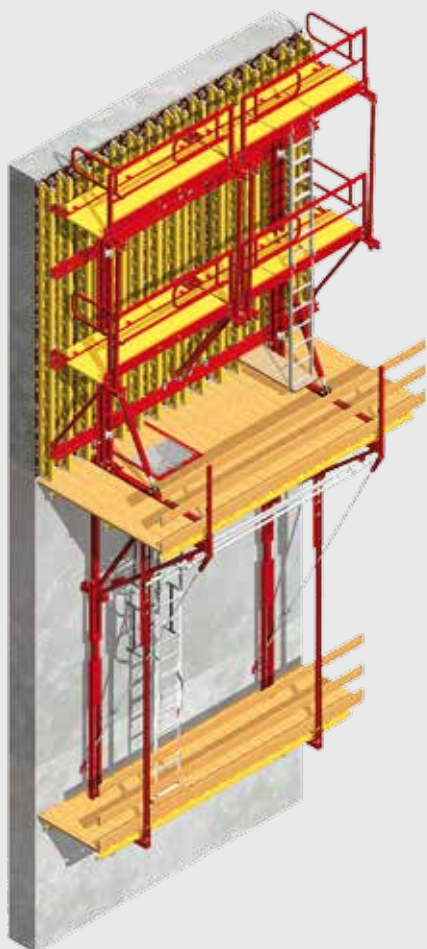
株式会社大林組  
施工管理者：  
小西 敬 様

プロジェクト情報 工事名：富山新港火力発電所 LNG1号機 新設工事 発注者：北陸電力株式会社  
施工管理者：大林組・東洋建設・西松建設共同体

工事場所：富山県射水市堀江千石1番地  
工期：2015年3月～2018年11月（運転）  
規模：外周直径83.7m 壁厚0.75m  
使用システム：VARIO+CB240



## CB クライミング作業足場 作業足場に安全性を追求



CB 240 クライミング作業足場を用いれば、可動式ローラーに型枠を積載し、型枠脱型時にキャリッジを用いることで（移動式脱型機構）、最大 75 cm の型枠移動が可能になります。

足場作業スペースを広く確保し、型枠清掃作業、メンテナンスなども可能です。また滑動、浮き上がりなどの危険性もなく、作業の安全性も確保しています。

CB 240 クライミング作業足場の許容荷重は高く、鉛直構造材のピッチを大きくとることができるので、1ユニットあたりの足場長さも大きく、かつ、高重量積載可能です。これらを総括すると、CB 160、240 どちらにおいても脱型後の足場スペースを大きく確保できるので、より高い作業効率を達成できます。

また CB 160、240 双方において、最上段は打設足場、中段が作業足場で、最下段が仕上げ足場となっています。それぞれの最大積載荷重はそれぞれ、150 kg/m<sup>2</sup>、200 kg/m<sup>2</sup>、75 kg/m<sup>2</sup> となっています。

各段への梯子は型枠側に背を向け移動するように設計され、各ステージ移動時も安全が保障されています。

システムクライミング時は、ユニットをクレーンで吊りこみ、所定位置まで引き上げます。先行アンカー M24 にユニットを設置し、足場取り付けリングを設置しクライミング作業完了です。

（詳細は弊社にお問い合わせください。）



# 新名神高速道路 坊川第三橋工事（上り P4） ACS 自動クライミングシステムを用いた橋梁の施工

兵庫県宝塚市



大成建設株式会社関西支店  
作業所長現場代理人兼監理技術者  
西川 伸之 様（写真中央）  
大成建設株式会社関西支店  
工事課長代理  
藤本 大輔 様（写真右）

西川様：

国内仕様に準ずるべく、現場、施工業者、ペリー社と三位一体でシステムの改善を行いました。クライミングシステムに鉄筋足場を組み込んだのを始めとし、1ロットあたり6mの長スパンを一度にクライミングできるようにするなど、難易度の高い現場要求にも応えていただきました。

また、現場に携わる全員の創意工夫と柔軟な対応により、クライミングシステムの合理性、簡便性を最大限に活かす事ができました。今後、様々な現場においてペリー製品やシステムの需要が高まるものと考えます。

ペリーの製品とサービスが、さらにきめ細かい現場要求に対応でき、利用され続けることを期待しております。

藤本様：

新東名青木川橋に続き、2度目のACS自動クライミングシステムの担当となりました。以前から移動式型枠をはじめとするペリー製品とシステムの評価は高く、発注者および現場関係者には「工期短縮が可能」という認識を持ってもらっていました。

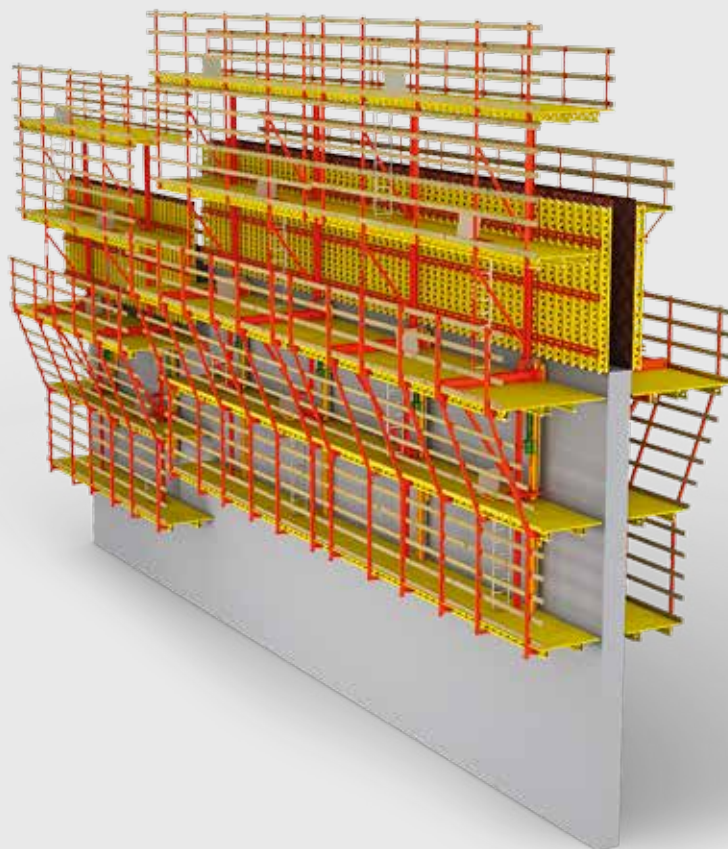
本現場では発注者様からの、最重要課題であった、「工期内の完成」という要望に応えるべくペリー ACS システムを導入し、51.50mの橋脚部の工期を1ヶ月も短縮することに成功しました。ACSの採用なしには達成できなかったと思います。

## プロジェクト情報

工事名：新名神高速道路 坊川第三橋工事  
工事場所：兵庫県宝塚市切畑から玉瀬間  
弊社システム使用橋脚：上り P4  
発注者：西日本高速道路関西支社  
元請：大成建設株式会社  
弊社システム使用期間：2015年8～11月  
使用システム：VARIO パリオ大型壁型枠、ACS自動クライミングシステム







当社自動昇降技術の活用により、建設手順の合理化を行い、その結果として、コンクリート硬化時間のような物理的要因による制約を除き、多方面で現場作業進行の迅速化を図ることが可能です。

また当社技術者は、各高層建築プロジェクトを、これまでのノウハウと経験を用いて、各プロジェクトに適した経済的な工法を提案しながらサポートします。

クライミングシステム PERI ACS は、以下の単語の頭文字です。

Automatic (自動)

Climbing (昇降)

System (システム)

安全性・効率性・省力化のコンセプトに基づき開発されました。

具体的には、足場・型枠ともに地上で組立・解体する為、作業の安全性が上がります。

同時に外周作業スペースを最大 260 cm の幅でとっているため、十分な作業空間と広い視

野を確保でき、安全性のみならず、作業スピードの迅速化に繋がります。約 20 階超の超高層構造物のコア (内外部)、エレベーターシャフト、橋脚、塔柱などに最適な自動昇降システムです。

油圧クライミング装置を使用し、型枠と足場を一体化させたユニットをクライミングユニット全体を囲い込み天候に左右されずに作業可能です。

#### 【クライミングユニットの技術的特徴】

クライミングユニット：最大重量 7 トン

作業床最大幅：260 cm

昇降スピード：50 cm/分

クライミング 1 回あたりの昇降高：64 cm

シリンダー最大荷重：100 kN

またページ下図のように PERI VARIO バリオ GT 24 システムとクライミングシステムを併せる事により、下記の利点が挙げられます。

1. 品質の確保：剛性が高く、躯体精度が向上
2. コストダウン：熟練工不足をカバーし、かつ労務費を削減
3. 工期の短縮：ユニット化、型枠張替不要、型枠建込作業性の向上などによる、手間と工期の短縮
4. 作業スペースを広く、かつ安全にとる事で、足場上で必要な作業人数が半分になる

実際に従来技術と比較し、損益分岐点なども明確に定義されているので、ある程度の規模、高さを越えた建造物の施工において、経済性の向上も見込むことができます (詳細は弊社にお問い合わせください)。

# 中之島フェスティバルタワー・ウエスト新築工事 外周養生フレームに RCS レールクライミングシステムを使用

大阪府大阪市

## 【お客様にとっての価値】

SRC 造、RC 造、S 造高層ビル建築現場において、外部への飛散リスクは大きな懸念事項です。また鉄骨建方のための養生は、フロアからの跳ね出し高さが大きいので、従来工法では厳しいのが現状です。

RCS レールクライミングシステムは、剛性の高い部材を使用することにより高さ 15 m 程度まで (3 フロア分) の跳ね出しを実現し、外周すべてを覆うことで鉄骨建方先行養生と外部への飛散リスク低減を可能にしました。

また、養生ユニットの盛替えは油圧装置によって行われるため、クレーンのスケジュールとは独立して実施する事が可能です。

さらに躯体外周部の施工に関しては、養生ユニットの下部にレールを取り付ける事により、ホイストによるカーテンウォールの引き上げも可能となりました。このような利点により、本現場にてご採用頂きました。

## プロジェクト情報

工事名：中之島フェスティバルタワー・ウエスト新築工事

発注者：株式会社 朝日新聞社、株式会社 竹中工務店

設計者：株式会社 日建設計

監理者：株式会社 日建設計

構造・設備設計協力：株式会社 竹中工務店

施工者：株式会社 竹中工務店

工事場所：大阪市北区中之島 3 丁目

工期：2014 年 7 月 1 日～2017 年春

延床面積：約 150,000 m<sup>2</sup>

規模：地下 4 階 地上 41 階

構造：SRC 造、RC 造、S 造



株式会社竹中工務店  
陳 雨青 様

本プロジェクトに RCS を使用した理由は、別プロジェクトで使用実績があったことに加えて、ペリー・ジャパンのサポート体制にあります。営業部の方は、様々な課題に対して協力して解決していこう、という強い意気込みがありました。技術者の方には、問題発生時に早期にご対応頂けたことは大変助かりました。どこの現場においても課題があると思いますが、その課題の解決にあたって、様々なご提案を頂けたこと、これが何よりプロジェクトの遂行に役に立ちました。

また実際に使用した上でのメリットとしては、何より「安心感」が挙げられます。このプロジェクトにおいて、全周 52 ユニットの 8 分割し、最大 7 ユニットの同時にクライミングさせることにより、クライミングの回数を大幅に減らす事で、様々なものが落下するリスクも減り、これが大きな安心感につながっています。また外周足場が同時に出来ていく事により、協力会社も安全で施工がしやすいと非常に喜んでおりました。



## RCS レールクライミングシステム 型枠と足場が一体化された自動昇降システム型枠



RCS クライミングシステムとは、

Rail ( レール)  
Climbing ( クライミング)  
System ( システム ) の略

クレーンまたは移動可能な油圧クライミング装置を使用し、型枠と足場を一体化させたユニットをクライミングさせます。外壁養生やセンターコアなどの自走式クライミングに最適です。

またクライミング時にユニットは常時構造物に接続。

ユニット全体を囲い込み、天候に左右されず作業可能です。

作業床最大幅：約 250 cm

型枠引込長さ：最大 80 cm

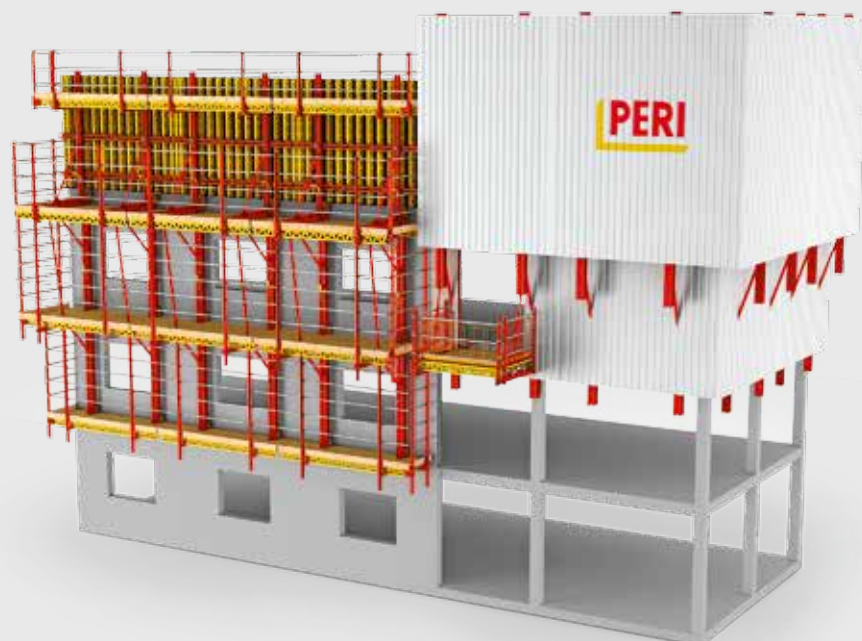
昇降スピード：100 cm/ 分

クライミング 1 回当たりの昇降高：50 cm

シリンダー最大荷重：50 kN

油圧式クライミングの様子 ( 上写真 )。

エンジン、ポンプ、バルブ、タンクで 1 ユニットを構成。作業者は油圧式クライミング部材で作業しています。



# 旦鳥鉦山(株)事務所建築工事 GRIDFLEX を用いて事務所スラブを施工

岐阜県揖斐郡



## プロジェクト情報

工事名：旦鳥鉦山(株)事務所建築工事  
発注者：旦鳥鉦山株式会社  
設計者：西濃建設株式会社  
監理者：西濃建設株式会社  
施工者：西濃建設株式会社  
工事場所：  
岐阜県揖斐郡揖斐川町上野 2179-39 他  
工期：  
2015年10月6日～2016年3月31日  
延床面積：198.78 m<sup>2</sup>  
規模：平屋建て  
構造：RC造 (SISJ 工法)  
使用システム：GRIDFLEX



西濃建設株式会社  
建築事業本部  
工事課  
清水 大輝 様

期の短縮が可能となりました。特にこの現場においては、設計時からシステム型枠を最大限活用できるよう、梁を逆梁にしたりなどの工夫をしたため、より効率的な施工が出来たと思っています。

GRIDFLEX の施工はとても早く楽でした。使用したのは今回が初めての職人さんもいらっしゃいましたが、PERI スーパーバイザーによる施工指導もあって、全く問題なく施工する事ができました。

部材の重さもさほど気にならず、省力化も図る事ができました。また建込に関しては下からの施工が可能で、また上部からスラブ用のコンパネを貼る際に起こりうる「踏み外し」の不安もなく、安全面も向上させる事ができたと思います。

在来工法の場合は大引材、根太材を流してコンパネを貼りますが、大引と根太が一体になっている GRIDFLEX を使用する事により、工



# (仮称) 横浜冷凍株式会社 幸手物流センター 新築工事 VARIO バリオ大型壁型枠、VARIO Column、PERI UP で施工

埼玉県幸手市



型枠工事専門業者  
野島建設株式会社  
架設工事部  
安倍 道 部長

高さ 6.50 m の壁に対する壁型枠などを含め、ペリー製品を使用することで、作業工程、歩掛の改善を感じました。また、コンクリート打設足場などを含めた型枠システムで作業の能率化を実感しました。歩掛の改善はペリー製品導入理由の一つであったため、当初の要望に沿った結果となりました。

(インタビュアーからの苦勞した点は?という質問に対して) 現場において特に導入時に、現場作業員方の製品に対する取扱いへの“慣れ”がなかった為、製品を重いと感じました。しかしながら製品強度も高く、製品導入直後に感じた“重さ”や施工時に突発的に出てくる現場要求や分かりづらさに対しても、ペリー現場指導員の対応を通じて解決することができました。

今後は、風速が高い時(毎秒 8~15 m)でも現場工期に合わせた施工計画ができるよう、より一層現場の工期短縮ソリューションを見つけてほしいです。

今後は同様の現場が増えてきたときに、ペリー製品を活用していきたいと思えます。特に、柱の完成精度が高かったため、柱施工時などペリー製品を積極的に活用したいと考えています。

## プロジェクト情報

工事名: (仮称) 横浜冷凍株式会社 幸手物流センター 新築工事

発注者: 横浜冷凍株式会社

設計者・監理者: 株式会社今川建築設計事務所

施工者: 三井住友建設株式会社

工事場所: 埼玉県幸手市大字平須賀字外郷内前 2480-12、埼玉県幸手市大字神扇字外郷内前 819-1

工期: 2016年4月5日~2017年6月15日  
延床面積: 18,435.20 m<sup>2</sup>(延べ床面積)、  
12,447.91 m<sup>2</sup>(敷地面積)

構造: 冷蔵倉庫棟 (RC造、一部S造)、事務所棟 (S造)

使用システム: VARIO バリオ大型壁型枠、VARIO Column, PERI UP (803基)



# 西濃環境整備組合一般廃棄物最終処分場建設工事 TRIO パネル壁型枠を用い、省力化、安全化、工期短縮を実現

岐阜県揖斐郡



## プロジェクト情報

工事名：西濃環境整備組合一般廃棄物最終処分場建設工事

発注者：西濃環境整備組合

設計監理：一般財団法人 岐阜県公衆衛生検査センター 一級建築士事務所

施工者：西濃建設株式会社

工事場所：岐阜県揖斐郡大野町下座倉地内

工期：2013年11月7日～2016年3月31日

延床面積：最終処分場総面積 2,555 m<sup>2</sup>

使用システム：TRIO パネル壁型枠



西濃建設株式会社  
建設事業本部  
工事課長  
林 善彦 様

当現場の施設はごみ焼却施設より発生する灰等を貯留する最終処分施設であり、その貯留槽の壁厚が最大で1.60 m、高さが9.50 mとなります。上部で鉄骨のアンカーセットがあるため、まずは高さ8.30 mまで壁躯体を構築しました。1ブロック延長が20 mを基本とし、鉄筋・型枠・コンクリート打設まで5日のサイクルで進捗しました。打設後は所定の養生

期間後にシステム型枠を次のブロックへ転用します。システム型枠はユニットを大きくすることで、揚重作業を含む作業効率が向上し、在来型枠工法と比較して不要資材等が少なく場内が整然とした状態でした。1.60 mの壁厚、高さが8.30 mあれば2回以上に分けてコンクリートを打設するのが通常ですが、今回導入したシステム型枠では、1回で8.30 mの打設高さを可能としました。これは工程短縮に大きく寄与しました。また一般的な躯体工事では型枠工事の延人工数は鉄筋工事の約2倍となりますが、当現場では約半分の延人工数で施工しました。システム型枠導入による省力化は災害発生リスクの低減にも繋がりに安全に作業ができました。



# 日通新東京物流センター（仮称） 国内最大級物流施設を PERI UP を用いて施工

東京都江東区



西建設株式会社  
型枠工事部  
湯浅 智博 様



株式会社蓮沼工業  
小島 佳祐 様

## プロジェクト情報

工事名：日本通運東京支店 新東京物流倉庫 Tokyo C-NEX

発注者：日本通運株式会社

設計者、監理者：鹿島建設株式会社東京建築支店、西建設株式会社、蓮沼工業

工事場所：東京都江東区新砂 2-4

工期：6ヶ月半（ペリー部材レンタル期間 2015年12月～）、竣工予定（2017年1月）

規模：地上五階建て、59,506 m<sup>2</sup>（敷地面積）、149,314 m<sup>2</sup> 延床面積）

構造：PERI UP（22基）、GT 24



今プロジェクトは、倉庫建設のプロジェクトです。現場支保工の間に車両を通すニーズが着想の原点となりペリー製品を採用する契機となりました。

テーブル支保工は軽量で使いやすいですが、スパンが短く車両を通せません。

他社の現場使用製品も、支保工としての性能は優れていますが、トラックや車両機器が通過可能である3m以上の支保工スパンを支保工部分に確保することが、現場課題となり、ペリー製品が採用されました。

強度上支保工スパンをどこまで大きくできるかが、現場問題解決の鍵でした。

現場サイドの創意工夫とペリー製品ソリューション、具体的には重量物移動装置採用、並びにペリー製品の柔軟な対応性により問題解決につながりました（右写真参照）。

競合他社の製品特徴としては具体的に、自由度が高く、小さいユニットでの組み立てが可能なので、短工期の現場で利便性が高いです。一方それに対し、ペリー製品は、長期工期が見込める現場で転用率などのメリットを活かすことができ、単管サポートなど現場建築資材への適応性も良い等のご感想をいただいております。また、急な現場対応なども、弊社エンジニア、施工指導員を通じて対応し、製品というハード面だけではなく、ソフト面におけるサポート体制にもメリットがあるとのこと感想もいただきました。

今後、お客様や施工業者様の立場や、ニーズに合わせたアプローチのできるサポート体制を調え、PERI UPを再度現場でご使用したいと思える改善を続けてまいります。



上部写真のように、ベーススピンドルを取り付けた重量物移動装置をアングルに沿わせて支保工を移動させ作業効率を大幅に上げることができました。

# PERI 製品ラインアップ



壁型枠



柱型枠



スラブ型枠



クライミングシステム



橋脚用型枠



トンネル用型枠 (海外仕様のみ)



支保工



一般作業足場 (海外仕様のみ)



外装足場 (海外仕様のみ)



プラント用足場 (海外仕様のみ)



アクセス階段 (海外仕様のみ)



ルーフテント (海外仕様のみ)



転落防止柵



各種部材



各種サービス

本冊子で掲載している写真の多くは施工中の現場写真です。  
最終的な安全面・アンカー位置などではございませんのでご了承ください。

© PERI Japan K.K.



ペリー・ジャパン株式会社  
システム型枠・足場・技術のスペシャリスト

〒103-0015  
東京都中央区日本橋箱崎町 31-4  
箱崎 314 ビル 8F

Tel. 03-5642-6102  
Fax 03-5642-8107  
info@perijapan.jp  
www.peri.co.jp